款 12諸支出金

項 2基金費

目 1財政調整基金積立金 事務事業番号 12020101

担当部・課	事	業名	│ H29年度	Ę		財	源	内	訳		
財政部教政課	担当	<u></u>	(決算額)	国道	支出金	地力	<u></u> 方債	7	その他	一般	財源
根拠法令							-				
# 根拠法令 まか生 市財 改調 整基金条例 実施方法 ■ 直接実施 □ 末条委託等 □ 補助金・負担金・助成金		** '	1, 398, 274 7	f円	千円		千円	923,	901 1 F	1 474, 37	3 千円
東来の目的・対象 財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。 財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。 財政の健全な運営に資するため、予算で定める額を基金に積み立てます。 東来の必要性 歳入の大幅な落ち込みや災害などの不測事態に対応するため、標準財政規模の5%以上 (約20億円以上)の残高確保を目標に基金に積み立てます。 中成29年度基金積立金			14 4 5 5								
事業の目的・対象											
#### ### ### ### ### ### ### ### ### #	実施方法	┃ ■直接実施 □業	務委託等	口補助金	・負担会	色・助成					
	事業の目的・対象	財政の健全な運営	に資するた	め、予算 ⁻	で定める	る額を基	基金に積	責み立	てます。		
平成29年度基金積立金 1,398,274,678円 平成29年度基金取崩し額 954,765,216円 平成29年度末基金残高 3,667,384,142円 コスト 事業費 (H29年度決算額) 1,398,274 干円 人件費 35 干円 松 計 1,398,309 干円 総 計 1,398,309 干円 お	事業の必要性							う、標	準財政規	見模の5%	的以上
1,398,274 千円	事業の内容	平成29年度基金積立平成29年度基金取崩	金 1 し額	, 398, 274, 954, 765,	678円 216円						
1,398,274 千円							I IH	- 弗			
事業費		コスト									
#実費 (H29年度決算額) 1,398,274 千円 人件費 35 千円 人件費 35 千円 人総計 1,398,309 千円 総計 1,398,309 千円 を				職員權	成 /					作事職員:	数
(1/29年度決算額) 1/398,309		1 398 274	壬田 ~		(-	半均給与	·×従 事	職貝覣	()		
再任用 (7ル) 千円 人 再任用 (7ル) 千円 人 再任用 (7ル) 再任用 (7ル) 平円 人 人 再任用 (7ル) 千円 人 人 長田 日標とする基金残高については目標額を確保できましたが、平成30年度当初予算の財源対策をよって、事業の課題、今後の方向性等 平成29年度末の基金残高については目標額を確保できましたが、平成30年度当初予算の財源対策として財政調整基金から1,274,716千円を取り崩すため、差し引くと、実質は約24億円の残高となります。	(H29年度決算額)	1, 000, 274		担当正規	職員		3). 005	人
# 日	上	25	ᆂᆔᄼ	嘱託職	員						人
1,398,309 17	人計復	30	ㅜ미스	再任用((フル)			千	円		人
1,398,309 17	40 =1	1 000 000		再任用(ハーフ)			千	用		人
指標名 単位 H29年度 H28年度 H27年度 基金の年度末残高 千円 3,667,384 3,223,875 2,997,446 成果目標 標準財政規模の5%以上(約20億円以上)の残高を維持します。 事業の有効性(効果の達成状況)	総計	1, 398, 309	+141 (
事業実績 (活動指標) 基金の年度末残高			指煙 名			畄位	H204			€ H27	
成果目標 標準財政規模の5%以上(約20億円以上)の残高を維持します。 自己評価	古坐中体	甘仝の任由士母古	10 1/4 10							-	
成果目標 標準財政規模の5%以上(約20億円以上)の残高を維持します。 自己評価		基立の平及不然向				TD	3, 007	, 304	3, 223, 0	75 2, 98	77, 440
自己評価	(冶刬拍倧)										
■ 事業の効率性(費用対効果) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	成果目標	標準財政規模の59		0億円以上	:)の残	高を維	持しま	す。			
事業の効率性(費用対効果) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	占つ証法	事業の有効性(効果の	D達成状況)			✓	5 [] 中		低	
自己評価の理由 目標とする基金残高を維持できたため、事業の有効性及び効率性は高いと考えます。 平成29年度末の基金残高については目標額を確保できましたが、平成30年度当初予算の財源対策として財政調整基金から1,274,716千円を取り崩すため、差し引くと、実質は約24億円の残高となります。 今後も安定的で柔軟性のある財政運営のために現状の残高は確保していきたいと考えます。		事業の効率性(費用				√ 高	<u> </u>	一中		低	
事業の課題、 今後の方向性等 ます。 今後も安定的で柔軟性のある財政運営のために現状の残高は確保していきたいと考えます。	自己評価の理由			きたため、	事業の						す。
特記事項		として財政調整基金か ます。	ら1, 274, 716	千円を取り	崩すたる	め、差し	引くと.	、実質	は約24億	円の残高	となり
	## == - -										

款 12諸支出金

項 2基金費

目 2減債基金積立金 事務事業番号 12020201

担当部	rn =m									
減信其名	心 * 誄	(決算額)	国道支	出金	地ブ	5債	そ	の他	一般	设財源
	金積立金	057 404					40.4			05
財政部		657, 421 🕂 F	- 기	千円		千円	13, 4	.96 千円	643, 92	25 千円
		<u> </u>								
根拠法令	苫小牧市減債基金		- 1 h - 1 h							
実施方法	■直接実施 □業	務委託等 🛭]補助金・	負担金	・助成	法金				
事業の目的・対象	市債の償還に必要 算で定める額を基金			ミにわた	∈る市財	†政の健	全な	運営に資	するた	:め、予
事業の必要性	経済事情の変動等 立を行う必要があり		下足や市債	の 償還	置額が多	類とな	∶る場 [∙]	合等の将	来に備	まえて積 しょうしょう
事業の内容	平成28年度末基金残 平成29年度基金積立 平成29年度基金取崩 平成29年度末基金残	金し額	812, 360, 4 657, 420, 5 300, 217, 0 169, 564, 0	585円						
	77 h					人件	費			
事業費	コスト	- F. F.	職員構成	或 (<u>ː</u>	概算	算人件費		·····································	事職員	 員数
事業費 (H29年度決算額)	コスト 657, 421	于円((-		算人件費 ·×従事	: 微員数	0		
(H29年度決算額)	657, 421	 	担当正規聯	能員		算人件費 ·×従事	: 職員数 5 千l	円 0	事職員	人
		千円	担当正規單属託職員	能員 員		算人件費 ·×従事	計 職員数 5 千l 千l	円 0 円		人人
(H29年度決算額)	657, 421	千円	担当正規聯属託職員再任用(7	戦員		算人件費 ·×従事	能員数 5 千l 千l	7 円 0 円		人 人 人
(H29年度決算額)	657, 421	千円	担当正規聯 嘱託職員 再任用(7 再任用(ハ-	能員 引 (ル) (ル)		算人件費 ·×従事	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	円 円 円 円		人 人 人
(H29年度決算額) 人件費	657, 421 35 657, 456	千円	担当正規聯属託職員再任用(7	能員 引 (ル) (ル)	平均給与	算人件費 ·×従事取 3!	職員数 5 千I 千I 千I 千I	円 0 円 P 円 P	. 005	人 人 人 人
(H29年度決算額) 人件費 総計	657, 421 35 657, 456	千円	担当正規聯 嘱託職員 再任用(7 再任用(ハ-	能員 引 (ル) (ル)	平均給与	算人件費 - × 従事 3: H29年	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	円 0 円 円 円 円 H28年度	. 005 E H2	人 人 人 人 人 27年度
(H29年度決算額) 人件費 総計 事業実績	657, 421 35 657, 456	千円	担当正規聯 嘱託職員 再任用(7 再任用(ハ-	能員 引 (ル) (ル)	平均給与	算人件費 ·×従事取 3!	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	円 0 円 円 円 円 H28年度	. 005 E H2	人 人 人 人 人 27年度
(H29年度決算額) 人件費 総計	657, 421 35 657, 456	千円	担当正規聯 嘱託職員 再任用(7 再任用(ハ-	能員 引 (ル) (ル)	平均給与	算人件費 - × 従事 3: H29年	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	円 0 円 円 円 円 H28年度	. 005 E H2	人 人 人 人 人 27年度
(H29年度決算額) 人件費 総計 事業実績	657, 421 35 657, 456	千円	担当正規聯 嘱託職員 再任用(7 再任用(ハ-	能員 引 (ル) (ル)	平均給与	算人件費 - × 従事 3: H29年	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	円 0 円 円 円 円 H28年度	. 005 E H2	人 人 人 人 人 27年度
(H29年度決算額) 人件費 総計 事業実績 (活動指標) 成果目標	657, 421 35 657, 456 基金の年度末残高 基金を積み増しし	千円 千円 指標名 ます。	担当正規聯 嘱託職員 再任用(7 再任用(ハ-	能員 引 (ル) (ル)	平均給与 単位 千円	算人件費 ×従事 33 H29年 2,169,	職員数 5 千1 千1 千1 千1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	円 0 円 円 円 円 H28年度	. 005 E H2 60 1, 5	人 人 人 人 人 27年度
(H29年度決算額) 人件費 総計 事業実績 (活動指標) 成果目標	657, 421 35 657, 456 基金の年度末残高	千円 千円 指標名 ます。	担当正規聯 嘱託職員 再任用(7 再任用(ハ-	能員 引 (ル) (ル)	平均給与	算人件費 ×従事 33 H29年 2,169,	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	円 0 円 円 円 円 H28年度	. 005 E H2	人 人 人 人 人 27年度
(H29年度決算額) 人件費 総計 事業実績 (活動指標) 成果目標	657, 421 35 657, 456 基金の年度末残高 基金を積み増しし	千円 千円 指標名 ます。	担当正規聯 嘱託職員 再任用(7 再任用(ハ-	能員 引 (ル) (ル)	平均給与 単位 千円	算人件費 ×従事 33 H29年 2, 169,	職員数 5 千1 千1 千1 千1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	円 円 円 円 H28年度 1,812,3	. 005 E H2 60 1, 5	人 人 人 人 人 27年度
(H29年度決算額) 人件費 総計 事業実績 (活動指標) 成果目標	657, 421 35 657, 456 基金の年度末残高 基金を積み増しし 事業の有効性(効果の	チ円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規即 嘱託職員 再任用(7-	(で)	平均給与 単位 千円 マ 高 高	算人件費 ×従事 33 H29年 2, 169,	· 職員数 5 千I 千I 千I 1 千E 564 中中	円 円 円 円 1,812,30	. 005 E H2 60 1,5	人 人 人 人 人 27年度
(H29年度決算額) 人件費 総計 事業指標) 成果目標 自己評価の理由 事業の課題、	657, 421 35 657, 456 基金の年度末残高 基金を積み増しし 事業の有効性(効果の 事業の効率性(費用	チ円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	担当正規取 属託職員 再任用(ハー 臨時職員 事業の有	対対性を対対性を対対性を対対性を対対性を対対性を対対性を対対性を対対性を対対性	平均給与	章人件書 3 3 H29年 2,169, 経済事	議員数 5 千 1 千 1 千 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	が 円 0 円 円 円 円 円 円 円 H28年度 1,812,30	(低 低 。	人 人 人 人 27年度 585, 981

款 12諸支出金 項 2基金費

目 3公共施設整備基金積立金 事務事業番号 12020301

事業名		H29年度		財			訳		
担当部・課		(決算額)	国道支出金	金 地:	方債	その	の他	一般財源	Į.
公共施設整備	備基金積立金	110 014 70	_		7 M	00 01	4 TM	20 000 =	- m
財政部	財政課	112,014 千円		円	十円	92,014	4 +19	20, 000 ∃	千円
根拠法令	苫小牧市公共施設	整備基金条例							
実施方法			補助金・負担	旦金・助原	 戊金				
事業の目的・対象	施設の整備に要す	る経費の財源に	に充てるため	か、予算で	で定める	額を基	金に積	み立てます	. 0
事業の必要性	老朽化した公共施	設の統廃合を↑	含めた更新し	こ備えて種	責立を行	う必要	゙゙゙゙゙ゕ゙゙あり	ます。	
事業の内容	平成28年度末基金残平成29年度基金積立平成29年度基金取崩平成29年度末基金残	金 11 し額	09, 870, 806F 12, 014, 392F 4, 754, 000F 17, 131, 198F	7					
	コスト				人件	·費			
 事業費	T		職員構成	概(平均給与	算人件費 F×従事		従	事職員数	
(H29年度決算額)	112, 014	千円(担	旦当正規職員		3	5 千円	0.	005	人
人件費	35	千円 一	嘱託職員			千円			人
八川良	00)	耳任用(フル)			千円			人
総計	112, 049	千円 再	任用(ハーフ)			千円			人
110 HI			臨時職員			千円			<u>人</u>
		指標名		単位	H29年		H28年度		
事業実績	基金の年度末残高			千円	1, 917,	131 1	, 809, 87	1 1, 729, 8	₹69
(活動指標)									
成果目標	基金を積み増しし				<u> </u>				
カコ 証 体	事業の有効性(効果の	の達成状況)		▽ [ā [」中		低	
自己評価	事業の効率性(費用	用対効果)			 高] 中		 低	
自己評価の理由	基金残高を増やす	ことができ、『	事業の有効性	生及び効≊	軽性は高	いと考	えます	•	
事業の課題、 今後の方向性等	今後の施設の老朽 に対応可能な基金と)変動等 	による歳入	.減
特記事項									

款 12諸支出金

項 2基金費

目 4総合戦略推進基金積立金 事務事業番号 12020401

事業名		H29年度			財源		内 訳			
	部・課	(決算額)	国道	支出金	地ブ	5債	そ(の他	一般財源	
	進基金積立金	75, 000 =	一	千円	ıl	千円	75, 00	0 千円	千円	
	『政策推進課 『一班・班子 ## * * * * * * * * * * * * * * * * * *	·				, , ,	,			
根拠法令	苫小牧市総合戦略				^ =					
実施方法	■直接実施 □業	務委託等	□補助金	• 負担会	金・助成	조金				
事業の目的・対象	まち・ひと・しご 経費の財源に充てる					苫小牧	市総合	戦略の推	推進に要する	
事業の必要性	ふるさと納税によ ることにより、事業						らに位置	付ける旅	恵策へ充当す	
声类の内容	平成28年度末基金残平成29年度基金積立		C 5, 000, 000	PH PH						
事業の内容	 平成29年度基金取崩	し額	C	円						
	平成29年度末基金残 	, 	5, 000, 000	11						
	コスト					人件	·費			
+ 414 #			職員構	成	概算 平均給与	算人件費		 従 ^薬	事職員数	
事業費 (H29年度決算額)	75, 000	千円 ~	担当正規		十均和分		₀₀	0.	05 J	
	0.45		嘱託職			- 04	千円		<u>05</u> 人	
人件費	345	千円	再任用(千円		人	
総計	75, 345	千円	再任用(/				千円		人	
140. 11	70, 010		臨時職	員	227.7.1	1100 5	千円		人	
Alle 6-+-	サムのケウナザウ	指標名			単位	H29年		H28年度	H27年度	
事業実績 (活動指標)	基金の年度末残高				千円	75, 0	00			
(/口⇒//]日1示/	-									
成果目標		充当額】 0円(58,000円 00,000円	実績)						1	
白口記住	- 事業の有効性(効果の	の達成状況)			✓ 高	i [中	1	氐	
┃自己評価 ┣━━━	事業の効率性(費用	用対効果)				i [氐.	
自己評価の理由	基金設置初年度で 経費を除く約3千万 います。									
事業の課題、 今後の方向性等	今後も基金の適切	な管理に努	め、総合質	线略推定	進を図る	ため継	続的に	実施して	いきます。	
特記事項										